

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	財産管理事業	コード	06-01-08-01
		担当課・係	財政課・財産管理係
		担当者	植田明彦
事業実施期間	平成18年度	電話	0869-64-1811
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な財政運営	
	小項目(施策)	財政	

事業について	
目的 (何のために)	市有財産(土地、建物等。道路等所管が他課のものを除く。)の適正な維持管理、貸付け、払下げなどを行う。
対象 (誰・何を対象に)	土地・建物等使用者、当該財産隣接者、市民等
内容	旧和気看護学校、駅舎等の建物及び普通財産である市有地の維持管理並びに遊休地の貸付け、売却などを行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
土地貸付件数	49 件	78 件	
建物貸付件数	3 件	15 件	
土地売払件数	5 件	14 件	
収入額(千円)	35,816 千円	47,446 千円	
建物等改修経費	3,255 千円	4,653 千円	
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 27,918 円	間接補助金等 0	直接事業費 21,935 円
	人件費 7,605 円	委託費負担 35,816 円	人件費 17,840 円
	合計 35,523 円	一般財源等 293 円	合計 39,775 円
必要人員	0.80 人	2.10 人	

結果指標	結果指標名	維持管理費(工事費を除く)	維持管理費(工事費を除く)	
	結果指標量	32,268	35,122	
	単位	千円	千円	
	対前年比	-	108.84%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	35,523,000 円	39,775,000 円	
	単位当たりコスト	35,523,000 円	39,775,000 円	
	結果指標名			
	結果指標量			
結果指標	対前年比	-		
	活動にかかるコスト			
	単位当たりコスト			

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	出来るだけ市有財産管理に係る管理費用を財産収入で賄う。			
成果指標名	財産収入対財産管理費用比率	式又は説明	(財産収入 - 財産売払い収入) / 財産管理費用 × 100	
成果指標	17年度	45パーセント	18年度	71パーセント
	対前年比	-	#VALUE!	#VALUE!
	到達目標値	より100%に近づける	到達目標年度	長期

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等: 備前市公有財産規則)
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
妥当性評価 <A~E>		課題認識
効率性評価 <A~E>		課題認識
有効性評価 <A~E>		課題認識

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 遊休地の売却と市有財産の有効利用を進めていく。
----------	---	---	-------------------------------

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価	土地、建物等は貸付、売却等により収入が見込めるが、年度間において増減が大きいといえる。また、その処理についても事例ごとに事務量が様々であり、効率化が図りにくい。	評価区分 <A~E> B
------	--	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	遊休地の売却を進める	平成19年度	本事業の維持管理経費及びその他事業の財源の確保が図れる。
妥当性	日生、吉永との統合を検討する。	平成19年度	経費の削減が図れる。